

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

緊急対策の適切な実効には監視が不可欠

◆政府の緊急対応策は？

政府はこの間「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」を断続的に打ち出しています。

【第1弾2月13日】総額153億円
国内感染対策、水際対策および影響を受ける産業への緊急対策。
【第2弾3月10日】財政措置0.4兆円。金融措置1.6兆円

を今年度予備費で措置するとしています。

中小・小規模事業者への無利子、無担保の資金繰り支援の他、小中学校の一斉休校で生じた問題への対策として、放課後児童クラブ一カ所に緊急支援50万円や休業補償として

- 正規・非正規を問わない助成（日額上限8330円）
- フリーランスへの支援（日額4100円）

も盛り込まれていますがフリーランスへの補償は全く不十分です。

◆政府・与野党連絡協議会スタート

3月18日には「生活不安に対応するための緊急措置」として、

- 個人向け緊急小口資金の特例拡大
 - 公共料金の支払の猶予
 - 国税・社会保険料の納付の猶予
 - 地方税の徴収の猶予
- などが発表され、これにも19年度予算の予備費が使われます。

3月19日には「新型コロナウイルス対策政府・与野党連絡協議会」ができて、最低週1回開催、与野党が協議して今後の補正予算が決まります。

◆神奈川県連として党本部に要請

立憲民主党神奈川県連からも、何よりも感染拡大の防止のための検査体制の充実と医療施設への支援を提案。また各都道府県に一括交付金を出すことも求めました。ひとり親家庭など社会的弱者（非正規雇用者・失業者など）への給付の支援も提言しました。



子どもの貧困率は13.9%。NPO法人しんぐるまあず・ふおーらむ(右)らの調査で、コロナ感染拡大による余波で、ひとり親家族の「収入が減る」は4割にのぼりました。物入りな進級・入学時期に、一斉休校により食費代も家計を圧迫しています。

◆子育て世帯へコロナ対策で給付金を

24日、一斉休校による子育て世帯への影響と一人親家庭への臨時給付金の必要性をNPO法人から聞き取りました(写真)。与野党協議会に反映されるよう声をつないでいきます。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町)
当選7回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリ
ニック(湘南台)理事長
現在、衆議院厚労委員会/議員連
盟「原発ゼロの会」事務局長



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所に お問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592